

# MINI MINES

ギャラリートウクの様子 中央は今井忠男教授



平成26年11月7日(金)から、平成26年度第3回鉱業博物館・阿仁郷土文化保存伝承館 連携展「道が支えた阿仁鉱山〜米の道・炭の道・銅の道〜」が開催されました。3回目となる今回は阿仁地域の産業活動を支えた輸送路に焦点を置き、阿仁の盛衰を探る企画です。江戸時代前半に発見された金を皮切りにゴールドラッシュに沸いた時代から明治期の近代化による変貌など、時系列に沿って阿仁の歴史に触れることができます。

開催当日の7日(金)は、監修者である今井忠男秋田大学国際資源学部教授によるギャラリートウクが行われました。今井教授は約1時間に渡って行われたギャラリートウクで、「江戸期に鉱山とともに阿仁街道周辺の運送業は栄えたが、明治以降の近代鉱山への変貌とともに衰退していった。盛衰の歴史を知ること、ふるさとへの思いを新たにしたい。」と話しました。会場となる阿仁郷土文化保存伝承館

## 阿仁鉱山の歴史 輸送を焦点に

### 道が支えた阿仁鉱山 ～米の道・炭の道・銅の道～



連携展の設営風景



#### 連携展情報

には50名を超える聴講者が訪れ、展示場は人であふれかえるほどでした。連携展は平成27年1月18日(日)まで開催されます。この機会にぜひ阿仁へ足を運び、過去と現在の歴史を体感してみてください。

#### 新聞掲載情報

- 11月9日(日) 朝日新聞 33面 掲載
- 11月11日(火) 秋田さきがけ新報 20面 掲載

連携会場：阿仁郷土文化保存伝承館  
 開催期間：平成26年11月7日(金)～平成27年1月18日(日)  
 開催時間：9時から17時  
 休館日：毎週月曜(祝日の場合は翌日休館) 12月29日(月)～翌年1月3日(土)  
 入館料：大人400円、高校・大学生300円、小中学生200円  
 住所：北秋田市阿仁銀山字下新町4-1-22  
 電話番号：0186-822-3665

## 平成26年度 企画展開催記念 「レアアース資源―先端技術を支えるビタミン―」

### 特別講演会開催レポート



ど、持続可能な社会の発展をとげるための重要な原料として存在しています。このようなレアアースの需要の増大に関して、資源の安定供給することを目指し、日本を始め世界各地で様々な調査・研究が行われています。本企画展を通して「レアアースとは何か、レアアースの産出、加工、用途」といったことをご理解して頂ければ幸いです。」と企画展の趣旨を話しました。結びに、「アパタイトという世

### 世界有数の研究者による最先端の解説

平成26年10月26日(日)13時から、企画展「レアアース資源―先端技術を支えるビタミン―」を記念して、監修者である渡辺寧国際資源学部教授の特別講演会が行われました。

講演では、「産業のビタミンともいわれるレアアース(希土類)は私たちの身の回りの様々な工業製品に使われています。特に近年では、ハイブリッド自動車や燃料電池な

渡辺寧 国際資源学部教授



が訪れました。質問も多く寄せられ、1時間の予定だった講演も時間を延長する程の盛況ぶりでした。

今後、鉱業博物館では資源や鉱業に関する様々な企画展を開催します。ぜひご期待ください。



現在のレアアース元素の需要や希少性を牛肉の部位にたとえながら解説する渡辺教授

界中に非常に広く産出する鉱物には、多くのレアアースが含まれていることがわかっていきます。この鉱物からレアアースを抽出することが可能になると、レアアース専用の鉱山を作ることなく、どこでもレアアースを産出することができます。秋田大学でもその研究を進めています。」と今後の展望を述べて締めくくりました。

講演会には40名を超える聴講者

解説を担当した高島先生は、長年バンドン工科大学との共同研究などでその功績が認められ、今年バンドン工科大学から表彰を受けました。今回エミー先生が講演をするきっかけになったのも、高島先生のグローバルな功績の結果です。さらに同大学はインドネシアの大規模国立大学で国からの多くの支援を受けていることもあり、大統領の教育方針が同大学に強い影響を及ぼしているとのことでした。

またエミー先生は岩石学の専門家で、あることから、火山噴火による災害についての話もありました。インドネ



講師のエミー・スバルカ教授（右）と解説担当の高島勲研究員（左）

平成26年10月29日（水）に行われた第4回鉱業博物館市民向け開放講座は「インドネシアの最新情報―火山活動、大学改革そして大統領選挙」と題しまして、インドネシアバンドン工科大学からエミー・スバルカ教授をお招きし、高島勲秋田大学名誉教授が通訳・解説を担当しました。

講座はエミー先生が在籍しているバンドン工科大学の紹介から始まりました。同大学は秋田大学とは以前から多くの教員、学生の相互交流があります。

# 第4回鉱業博物館市民向け開放講座

「インドネシアの最新情報―火山活動、大学改革そして大統領選挙」を開催しました



大変多くの方々に聴講いただきました。ありがとうございました。

シア国内では常に噴火が起きていて、活火山が存在していません。講演では最近噴火した4つの火山を写真とともに紹介しました。紹介した火山は今年2月、8月、9月、講演直前の10月に噴火した火山で、次々に別の場所にある火山が噴火していく「噴火のローテーション」のような状況が起こっていることに関して、新たな研究をしていることについては話されました。

講座には多くの聴講者が訪れ、質問も飛び交うなど活気あふれる講座となりました。



インドネシアで現在活動している火山が噴火した様子

## 平成26年度博物館実習が終了しました

平成26年度学芸員資格取得プログラムの学生実習が終了しました。

この科目は、学芸員資格の取得を目指す教育文化学部所属の学生が参加する実務的プログラムで、長年にわたり多くの学生が学芸員の卵として当館で活動してきました。

今年度は4月から半年以上、4年次の3名が実習生として活動を行ってきました。カリキュラムの改変によりプログラム終了となるため前年度に実習参加者が殺到し、本年度は大変少ない人数での活動でした。しかし博物館の行事や仕事量は前年度と変わりません。そのような状況の中でも彼らは大いに努力し、活動してきました。

実習は、春は博物館業務、夏はジュニアサイエンススクールのリーダーとしてイベント業務を運営、締めくくりにはお客様に館内案内を行い、終了となります。最後の大仕事となる館内案内は、大変緊張しながらも、事前に考えた案内文を読んでいくだけでなく、お客様との会話を重ねながら展示物の説明をしました。説明を終えたとお客様から拍手をいただくなど大変好評で、実習生の努力が実る結果となり、とてもうれしそうな表情だったことがとても印象的でした。

実習生の皆さん、大変お疲れ様でした。博物館スタッフ一同、実習で体験したことが一助となればと、皆さんをこれからも応援しています。

高校生のお子さんを持つ保護者の方々に鉱物の説明をしました。お客様からは大好評でした！



化石の説明をしました。アットホームな雰囲気でもとても聞きやすい解説でした！



とても緊張した様子でしたが、とても上手に解説してくれました！

皆さんお疲れ様でした！

### 鉱業博物館サイエンスボランティア連携展見学会&研修会

サイエンスボランティア連携展見学会  
日時：平成26年11月21日（金）  
場所：阿仁文化保存伝承館

サイエンスボランティア研修会  
日時：平成26年11月27日（木）  
場所：男鹿市

来月のミニミニマインズにてレポートします！

## 12月の恐竜 アロサウルス

アロサウルスは全長約12m、体重約2tの肉食恐竜です。鋭い歯と爪を持ち、ティラノサウルスよりは小さいですが、体長の割に体重が軽いことから、非常に俊敏であったと考えられています。そのため、狩りが上手であった恐竜と考えられています。化石はアメリカで多く発見されていますが、オーストラリアやアフリカでも発見されています。名前の意味は、「変わったトカゲ」です。



鉱業博物館ミュージアムショップにて販売しています  
価格：4,200円（税込）